

観光社会資本の事例

テーマ	自然の中のコミュニティゾーン「砂川」
【施設の状況写真】	
	
<p>背後地の赤松林との調和を図るため、溪流保全工には自然石を使用している。</p>	<p>子供達の遊び場として利用できるように、親水性のある構造としている。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>溪流の中で水と戯れる人々。夏場には多くのキャンプ客で賑わう。</p>	<p>背後地に整備された広場。家族連れだけでなく、近くの小学校による野外学習にも利用される。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>砂川は、桃太郎童話の元として話し継がれている「<small>きびつひこのみこと</small>吉備津彦命<small>うら</small>と温羅との伝説」の舞台となった「鬼ノ城」へのハイキングコースの入り口に位置し、地元総社市はもとより近隣の市町村や県外からも多くの観光客が訪れています。砂川には、ウォーターライダーを備えた親水護岸や背後地に整備された広場で人々が憩えるような工夫がされているため、夏場には毎年7万人以上のキャンプ客で賑わっています。</p> <p>また、総社市のホームページでも砂川公園として全国に紹介されています。</p>	

テーマ	自然の中のコミュニティゾーン「砂川」
【社会資本の基礎データ】 ○名称 砂川 ○所在地 岡山県総社市黒尾 ○事業名 砂防環境整備事業 ○事業主体 岡山県 ○事業期間 昭和53年～平成7年	
【社会資本の役割・効果】 ○治水効果 籐ヶ瀬川水系砂川流域は、風化花崗岩地帯で昔から土砂流出による災害が多発していた。本事業により溪流保全工等砂防設備を整備したことにより、溪岸浸食及び土砂流出を防止し土砂災害が低減した。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 総社市ホームページ: http://www.city.soja.okayama.jp	